

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 25 日

【評価実施概要】

事業所番号	2171700509		
法人名	社会福祉法人 恵和会		
事業所名	グループホーム 花の木		
所在地	岐阜県恵那市大井町2709番地72 (電話) 0573-20-1023		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成20年11月14日	評価確定日	平成20年12月15日

【情報提供票より】 (平成 20 年 10 月 1 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 8 人, 非常勤 8 人, 常勤換算	14 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000・36,000 円	その他の経費(月額)	27,000～ 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 450 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (平成 20 年 10 月 1 日 現在)

利用者人数	17 名	男性	1 名	女性	16 名
要介護1	0 名	要介護2	5 名		
要介護3	6 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	2 名		
年齢	平均 84 歳	最低 77 歳	最高	92 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	森川クリニック・恵那市立恵那病院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

名称地の恵那峡がすぐ近くにあり、静かな林に囲まれたホームである。この4月に、1ユニットが増設されたが、広い敷地の中に見事に調和している。利用者は、それぞれ役割りを担いながら、恵まれた自然環境の中で癒され、本人ペースで、ゆったりとしたリズムでの暮らしに、穏かで満足の表情がみられた。職員は高齢者に対する深い思いやりを持ち、優しく寄り添い、定着率も高い。職員の質を高めるための法人内研修制度や専門職による指導体制もあり、運営面での総合福祉法人が持つメリットが活かされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では、改善点はないが、4月から1ユニットが増設となり、新たな視点で、より良いサービスの向上に向けて取り組んでいる。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	定例の職員会議で課題を確認共有し、限られた人手の中で、できるものから改善に取り組んでいる。さらに、母体法人の5ヶ年計画が策定中であり、具体的な改善目標が盛り込まれることになった。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月ごとに行われ、事業報告、行事計画や地域との交流促進について意見交換を行っており、その結果をホームの運営に反映させている。地域との交流促進や防災協力体制での成果が得られている。家族会代表も毎回出席し、ホームの運営に協力している。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱は設置してあるが、活用事例はなく、家族が訪問時に話し合いの場を設けている。家族が話し易い雰囲気の中で、気軽に意見を出している。寄せられた意見・要望には、素早く対応する仕組みが取られている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会の一員として、地域の行事に参加し、交流を深めている。五平餅会、新年餅つき会、花火大会、保育園の運動会等に参加している。また、定期的に農業高校の園芸福祉科の生徒が花のプランター作りに訪れたり、毎月1回行われる寺の住職による法話の会が、ホーム設立以来続いている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中での生活が実感できるように、運営方針を掲げ日々実践している。継続的な課題として、地域密着型サービスとしての独自理念の構築が求められている。	○	法人は、5ヶ年事業計画を策定中であり、その一環として、事業所独自の理念をつくること予定されており、期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業の目的及び運営方針を全職員で共有し、職員研修や勉強会で確認しながら、サービスの質の向上に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事である花火大会、祭り、五平餅会、保育園の運動会等に参加し、交流に努めている。地区自治会長の働きかけで、防災等で地域から協力と支援を得ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価は、定例会議で取り上げ、職員の気づきも取り入れながら、改善に向けて取り組んでいる。物干しの高さを低くするなどの改善事例がある。		

岐阜県 グループホーム花の木

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、ここでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に1度開催し、事業報告、行事計画や地域との交流促進について意見交換を行っている。家族会代表も毎回出席し、ホームの運営に協力している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催する研修会、講習会へ参加し、ホームからは講師を派遣したり、情報提供などで連携している。現在、市には、介護相談員の派遣を要請している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の生活の様子を「花の木たより」で報告している。個別に事情のある場合は、手紙と電話で連絡を取っている。ほとんどの家族はよく訪問してくれるので、その機会を活かし話し合いの場が設けられている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に意見を聴く機会が多いので、会話の中から意見を引き出すように対応している。家族の意見から、寒がりやの人、調理好きの人などへの支援要請があり、ケアに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限であり、馴染みの関係は維持されている。代わる場合でも、利用者の不安な気持ちを察し、職員は笑顔とコミュニケーションを大切に心掛けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症介護実践研修に、毎回、1名が勤務扱いで受講している。法人内には、新人研修、定例勉強会や外部講師を招いた学習会の体制ができています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内にある同業者との交流を通じ、日課表、献立表、寝たきり重度者のケアなど、相互に学び合っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所の仕組みはないが、ホーム見学や行事に招待し、徐々に馴染んでもらってから、サービスを開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者の得意なことや好みを良く把握し、寄り添いながら一緒に過ごす時間を大切にしている。カラスミ作り、白菜の漬物つけ、カビの生えない干し柿のつるし方などを利用者から学んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	決まりごとを好まない人、自由な買い物や外出したい人、地域の「ご詠歌の会」に行きたい人など、それぞれの思いを把握し、本人・家族と協力しながら支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員ケア会議で検討し、本人・家族の希望を取り入れながら、関係者の意見も反映させた介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎の見直しと、心身の変化があれば随時見直している。その場合には、本人・家族、医師などの関係者と話し合っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院には無償で職員が同行している。外泊支援やリング狩り等の日帰り旅行も計画的に支援している。		

岐阜県 グループホーム花の木

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医が、かかりつけ医になっているが、数名については、市民病院や精神科医の受診を支援している。毎月2回は、協力医による往診が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合は、ホームで何処まで対応できるのか、医師や家族と話し合い、時期を迎えたら医療機関や他の介護施設へ移ることを基本にしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけは、プライバシーやプライドに十分配慮することを日々心掛けている。勉強会でもテーマとして取り上げ、徹底を図っている。個人情報、所定の場所で安全に管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴時間は決めてあるものの、本人のペースを優先させている。テレビ観戦、趣味の編み物、パッチワーク、レクリエーション、庭の落ち葉掃除など本人のペースで、自由に過ごしている。		

岐阜県 グループホーム花の木

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備では、利用者も包丁を上手に使い、盛り付けをしている。職員も一緒に食事を摂り、料理等の話題を提供しながら雰囲気づくりに努めている。食事時には、テレビは消して、静かな音楽を流している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	昼の時間帯での入浴が定着している。広い空間の檜風呂で、窓越しに木々の景色が眺められ、利用者は入浴が楽しみであり、現在は、入浴嫌いの人はいない。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑の収穫は男性が、洗濯干しやたたみは女性が担っている。毎月1回訪れる美容ボランティア、パッチワーク教室の先生、寺の住職による読経・説教・法話が楽しみになっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自己評価や家族からの要望にもあるように、日常的な外出の機会が少ない。	○	外出がしにくい原因を探り、少しでも利用者が周辺の散策で外気に触れたり、リフレッシュの機会を増やす支援に期待する。また、個別の買い物やドライブ等の要望には、家族の協力も得られるような働きかけ等を工夫されたい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せず、見守り体制が確保されている。全職員で、利用者が圧迫感や心理的な弊害のないケアに取り組んでいる。		

岐阜県 グループホーム花の木

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署の指導で災害訓練を実施している。地域の協力も得られているが、火災を想定した避難経路や避難場所への具体的な誘導訓練は十分ではない。	○	避難経路や避難場所への具体的な誘導訓練については、消防署の指導を受けながら、自主訓練も含め、危機に対する備えと、意識の向上に努められたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の把握および水分量をおよそ把握し、記録している。調理形態や栄養バランスについては、法人の栄養士から、年4回、実地指導を受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木造作りの広く明るい空間が確保されている。季節感のある装飾品、手づくり暖簾、畳コーナーや広いベランダもあり、床暖房、バリアフリー構造で、快適な生活環境がある。浴室も広い空間の檜風呂で、窓越しに木々の景色が眺められて快適である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、机、収納ケース、家族の写真、鏡台、見易いカレンダー、時計などが持ち込まれ、居心地よく配置されている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。